

2011 OSCAR MEETING

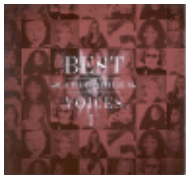
オスカー ミーティング

配付CD-Rの内容

下記の5曲の中から自由に選んで聴いて頂ける環境を参加者の皆様をお願いします。
iPodやメモリーの方は、独自のリッピングで挑戦してください。

今回の収録曲は、昨年のミーティングに使用した3曲に加え、「USACI」ヨーロッパの審査CDの中から2曲使用させて頂きました。
来年から始まる「USAC」の審査CDには、収録の無い曲です。

トラック 1



1. Desperado

1994年に“Le Couple”のボーカルとしてデビューした藤田恵美。
スローバラード系の女性ボーカルです。

- ピアノの素材感を聴きます。
- 低い音、高い音の音色が同じで、ピアノの緊張感とハーモニーを聞き分けましょう。
- ボーカルの位置(センター定位) ■ボーカルとピアノの位置感(奥行き)
- ボーカルの芯とビブラートの広がり方。(音色・色気)

トラック 2



2. Naima/Thom Rotella

帯域バランスや音場の立体感を聴いてください。
エレクトリックベースから始まり、すぐにチャイムスが右から左、又右に左と動いていきます。
この、チャイムスを立体的に動きを聴きとってください。質感も要チェックです。
ベルツリーも加わり、3次元的な高域の音場再生を客観的にとらえる事ができます。

トラック 3



3. 夜明け前

軽快なリズムに、ポップなバンド演奏が魅力的な曲です。
車の中に居る事を忘れて欲しい、空間再現とサウンドのパノラマを楽しんで欲しいと思います。
一般のCDソフトに比較すると、録音レベルがやや低くなっていますが、その分広いダイナミックレンジを狙いました。
つまり感の無い伸びやかな音で、録音スタジオで聞いているかのような、気持ちの良い生々しいサウンドを目指しました。

トラック 4



4. Dock of the Bay/Lincoln Mayorga

自然なサウンドステージと楽器の素材感を聴いてください。
ライブ感に満ちた会話から始まるカントリー風の乗りの良い曲で、会話にかぶせて左にアコースティックギター次にエレキベース、ドラムスが加わり、センターにもギター、今度は左からアコギ、エレキやサクソと非常に多くの楽器がリズム良く登場します。
それぞれの、楽器の位置関係や素材感を聴いてください。

トラック 5



5. Gloria From Misa Tango

スケールの大きなオペラです。(ヨーロッパのクラシック)
ピアノ作品ですが、重厚なスケール感のエネルギーが出だしから聞けます。
■帯域バランスを聞いてください。 ■中低音楽器の分解能を聞いてください。
■男声テノールは4分の3の位置(助手席前) ■女性のソプラノは4分の1の位置(運転席前)
■バックコーラスは、やや後ろの横一直線のハーモニー(奥行き・ステージの歪み)